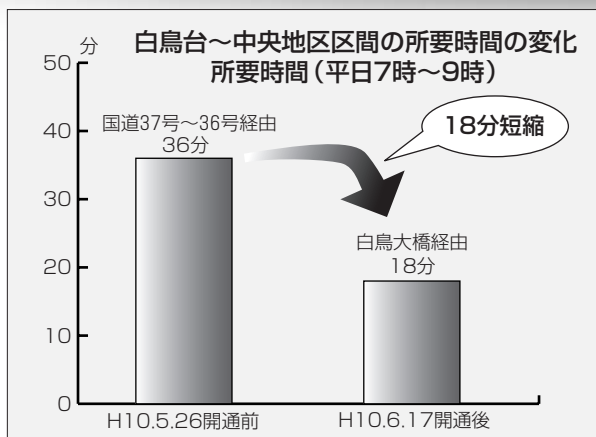
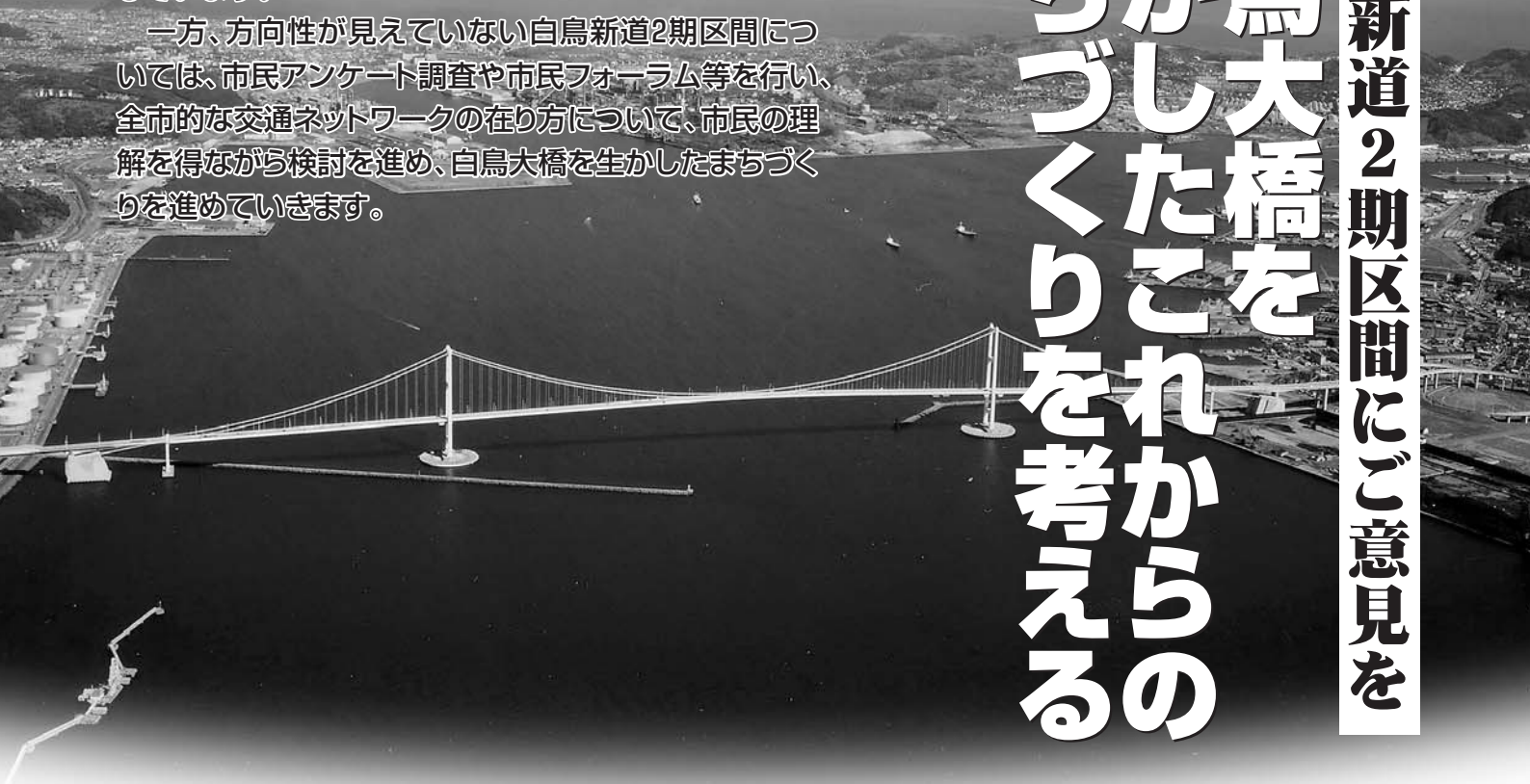


# 白鳥新道2期区間にご意見を

# 白鳥大橋を 生かした まちづくりを 考えるの から

長年の夢であった白鳥大橋が平成10年に開通し、念願のサークル都市が形成され、交通の利便性が大幅に向上しました。産業・経済活動にも大きな効果をもたらしています。

一方、方向性が見えていない白鳥新道2期区間については、市民アンケート調査や市民フォーラム等を行い、全市的な交通ネットワークの在り方について、市民の理解を得ながら検討を進め、白鳥大橋を生かしたまちづくりを進めていきます。



(資料:平成15年度室蘭開発建設部作成)

白鳥大橋が完成して室蘭市のまちづくりにどのような効果がありましたか？

白鳥大橋の完成により、祝津地区から白鳥台地区への移動は14km(約25分)短縮され、広域的な物流の効率化、救急輸送時間の短縮による緊急医療体制の強化、経路分散による交通渋滞の緩和等のほか、道の駅「みたら」等絵鞆地区や中央地区の土地利用にも大きな効果がありました。北海道開発局が実施した、平成15年度の事業評価(※1)では、建設や管理に要した費用の約1.5倍の効果があったと報告されています。

具体的にはどのようなことですか？

- ① 交通量の状況：市内の国道36号・37号及び道道室蘭港線の白鳥新道開通前後交通量を比較すると、国道36号では14%減少し、国道37号では12%減少する一方、祝津町と中央町を結ぶ道道室蘭港線は66%増加しました。
- ② 旅行速度の向上：伊達市及び白鳥台方面から中央地区への交通量が白鳥大橋へ転換され、通勤ラッシュ時の所要時間が開通後は18分短縮しました。
- ③ 交通事故低減の状況：国道36号は33%減少し、国道37号は5%減少する一方、道道室蘭港線は31%増加しました。
- ④ 渋滞損失時間(※2)の変化：年間渋滞損失時間の削減率は56%となり渋滞が緩和されました。
- ⑤ その他：祝津絵鞆地区及び中央地区等地域プロジェクト(※3)への効果、白鳥大橋そのものが観光資源となっているほか、道の駅「みたら」などの完成による観光入込み客数の向上、祝津絵鞆地区及び伊達市の宅地分譲の増加などの効果がありました。



白鳥新道2期区間とはどこですか？



昭和57年に室蘭新道と同じ4車線の自動車専用道路として都市計画決定（平成元年一部変更）されています。  
 延長：約4km（入江改良含）  
 幅員：約19m（標準部）  
 型式：高上式（高架構造）

白鳥新道2期区間計画について  
 ご意見をお寄せください



今後は、室蘭市のホームページ (<http://www.city.muroran.hokkaido.jp>) で情報提供し、3月31日までホームページ上でアンケート調査を実施します。また、市民2,000人（無作為抽出）を対象にダイレクトメールでアンケート調査も実施します。

結果について、広報むろらんやホームページで公表すると共に今後市民フォーラムを開催する予定です。

**申込方法** 3月31日まで、郵送、ファクスまたはEメール ([toshikei@city.muroran.hokkaido.jp](mailto:toshikei@city.muroran.hokkaido.jp)) で都市計画課（〒051-8511幸町1-2）  
 ☎②592、ファクス④2091

白鳥新道2期区間が整備されるとどのようなことが期待されますか？

- ・冬期間の交通渋滞解消
- ・救急救命、災害等における緊急時の通行時間短縮及び国道37号のバイパス機能確保
- ・PCB廃棄物処理事業等の地域プロジェクト展開への支援
- ・利便性向上による観光の振興及び生活基盤の向上や人口定住化への弾み
- ・臨港道路を利用する港湾大型車両との混雑の解消
- ・地元基幹産業及び流通業の活性化



道道室蘭港線（祝津町付近）

なぜ今、白鳥新道2期区間について議論されているのですか

- ・平成10年の白鳥大橋開通後、公共工事の削減等道路行政が厳しくなる中、交通量やまちづくりの今後の推移を見ながら事業化について慎重に検討する方針が出され、2期区間整備の方向性が見えていない。
- ・開通後7年が経過し、白鳥大橋交通量は順調に推移しているが、2期区間の新規着工の見通しが立っていない。
- ・道路特定財源（※4）が将来、「一般財源（※5）化への動きがあり、今後ますます事業化への難航が予想される。
- ・白鳥新道2期計画に対して、問題を先送りするのではなく、市民の皆さんとともに最善の方策を見出していきたい。

ワンポイント  
 用語解説



- ※1 事業評価  
 建設事業費・管理費の合計と時間短縮・走行経費・事故減少に係る便益合計との比較で事業完了後に、事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置、同種事業の計画・調査のあり方などを検討するもの
- ※2 渋滞損失時間  
 交通渋滞などで余分にかかる時間
- ※3 地域プロジェクト  
 室蘭港祝津絵鞆地区土地利用構想（白鳥大橋記念館、パークゴルフ場、屋台村、温泉施設など）、室蘭市レインポープロジェクト（室蘭駅周辺の区画整備）などのこと
- ※4 道路特定財源  
 使途は道路整備に特定し、揮発油（ガソリン）税など、自動車利用者に道路整備費を負担してもらう国または地方公共団体の財源。
- ※5 一般財源  
 使途が特定されず、どの経費にも使用できる国または地方公共団体の財源